

令和 6 年 度

事業報告書

特定非営利活動法人みたけ弥勒クラブ

「みらい塾」

〒020-0122 盛岡市みたけ五丁目 1 7 番 1 7 号

TEL 019-601-1160 FAX 019-643-7111

メール mitake36@extra.ocn.ne.jp URL <http://www.mitake36.com/>

「みらい塾上堂分場」

〒020-0125 盛岡市上堂四丁目 1 番 6 0 号

TEL 019-645-8660 FAX 019-645-8661

メール kamido36@ivy.ocn.ne.jp

事業報告書 目次

§ 1. 法人の部

1	事業所の概況	1
2	沿革	2
3	役員	4
4	会員	4
5	組織及び職員	4

§ 2. 「みらい塾」の部

1	事業概要	5
2	利用者状況	
	(1) 月次利用実績（平日）	7
	(2) 月次利用実績（土日）	7
	(3) 月次利用実績（日中一時）	7
	(4) 在籍利用者数	8
	(5) 市町村別の状況	8
	(6) 年齢構成の状況	8
	(7) 平均年齢	8
	(8) 障害程度区分	8
3	事業実施状況	
	(1) 生活介護事業	9
	(2) 就労継続支援B型事業	10
	(3) 指定特定相談支援事業	11
	(4) 土曜日営業	12
	(5) センターⅡ型事業	12
	(6) 日中一時支援事業	12
	(7) リスクマネジメント状況	13
	(8) 実習生受入状況	14
	(9) 社会福祉実習生等の受入状況	14
	(10) 関係機関との連携、委員等の派遣	14
4	職員研修実施状況	15
5	地域社会との交流	15
6	防災訓練実施状況	16

§ 1. 法人の部

1 事業所の概況

(1) 設置主体 特定非営利活動法人みたけ弥勒クラブ

(2) 事業所名 みらい塾（多機能型事業所）

(3) 実施事業

	事業名		定員	備考
1	個別給付	生活介護事業	25人	
2		就労継続支援B型事業	15人	上堂分場
3		指定特定相談支援事業	—	
		合計	40人	
4	地域生活	地域活動支援センターⅡ型事業	20人/日	
5	支援事業	日中一時支援事業	10人/日	

(4) 土地・建物

項目	みらい塾	上堂分場
敷地面積	518.22 m ²	267.05 m ²
建物面積	338.10 m ²	183.98 m ²
1階床面積	179.11 m ²	88.42 m ²
2階床面積	158.99 m ²	95.56 m ²
建物の高さ	10.57 m	8.35 m
建築物の構造	木造	木造

2 事業所の沿革

2005年（平成17年）

- 4月 NPO 法人設立に向け準備を開始する
- 7月 設立総会を開催
- 10月 特定非営利活動法人みたけ弥勒クラブ 認証され、登記する
- 12月 改築工事完了

2006年（平成18年）

- 2月 事業所（みらい塾）説明会
- 4月 障がい者デイサービスセンター「みらい塾」開所（定員20人）
- 7月 もりきたエコムネットに入会
- 10月 事業所説明会（障害者自立支援法に向けて）
経過的デイサービス事業へ移行、日中一時支援事業開始（定員7人）

2007年（平成19年）

- 3月 事業所説明会（新法移行について）
- 4月 多機能型事業所「みらい塾」開所
生活介護事業（定員15人）、自立訓練（生活訓練、定員10人）
地域活動支援センターⅡ型事業（定員15人）開始
- 10月 岩手県障害者自立支援基盤整備事業の補助金を受け改築

2008年（平成20年）

- 5月 分場開設に向け準備を開始する
- 12月 就労継続支援B型事業所「みらい塾上堂分場」開所（定員15人）

2009年（平成21年）

- 3月 日本財団より、送迎車両（セレナ）・軽トラックの助成を受ける
- 5月 理事増員（3人→6人）
- 11月 岩手県障害者自立支援基盤整備事業の補助金を受け送迎車両を配備（ハイース）

2010年（平成22年）

- 4月 平成21年度共同募金による施設整備費助成決定（建物窓修繕整備事業）
土曜日開所事業（余暇支援活動）開始
- 10月 法人設立5周年

2011年（平成23年）

- 3月 自立訓練（生活訓練）事業廃止
- 4月 生活介護事業定員増（定員20人）
- 5月 地域活動支援センターⅡ型事業定員増（定員20人）

2012年（平成24年）

- 1・3・8月 学習塾季節限定講習実施（算数、英語 合計24日間）

- 12月 夕方見守り事業開始（日中一時支援事業として）
- 2013年（平成25年）**
- 1月 学習塾冬期講習実施（算数、英語 合計8日間） 学習塾事業中止
- 4月 地域活動支援センターⅡ型定員増員（定員30人）
日中一時支援事業定員増員（定員10人）
- 2014年（平成26年）**
- 4月 特定相談支援事業開始
- 5月 ㈱マルイチとの業務委託契約（清掃員付添）開始
- 2015年（平成27年）**
- 2月 日本財団より、送迎車（アクティ）の助成を受ける
- 2017年（平成29年）**
- 4月 地域活動支援センターⅡ型定員減員（定員20人）、併せて契約者を
2グループ編成とし、隔月での利用に切り替え
- 9月 みらい塾まつりを廃止
- 2020年（令和2年）**
- 2月 新型コロナウイルス蔓延により、地域活動支援センターⅡ型事業を
休止
- 3月 日本財団に車両助成で2009年に購入した送迎車両（セレナ）の廃車
届け（総走行距離141,500kmで老朽化のため）申請し、受理される
- 11月 初代理事長（吉岡美佐子）が退任し、後任に山田明夫が就任
- 2022年（令和4年）**
- 9月 上堂分場（就労継続支援B型事業）内で新型コロナウイルス罹患者が複数人
発生し、6日間の事業所閉鎖後に営業を再開
- 11月 本場（生活介護事業）内で新型コロナウイルス罹患者が複数発生し、5日間
の事業所閉鎖後に営業を再開
- 2023年（令和5年）**
- 2月 日本財団に車両助成で2009年に購入した軽トラックの譲渡届け（利用頻
度が少なかったため）を申請し、受理後に（社福）盛岡市民福祉バンクに車両
を譲渡
- 6月 新型コロナウイルスの5類移行を受け、地域活動支援センターⅡ型事業を試行
的に再開（みらい塾平日利用者に限定）
- 2024年（令和6年）**
- 3月 本場周辺の防犯協力として、盛岡西警察署に『子ども110番の家』加入を申請
- 8月 本場建物の外装及び屋根の大規模修繕を実施
- 10月 平日利用者を対象とした任意の健康診断を開始
- 2025年（令和7年）**
- 3月 初代塾長（山田明夫）が退任し、後任に遠山政良が就任

3. 役員

役 職	氏 名
理 事 長	山 田 明 夫
理 事	山 内 美 子
理 事	吉 田 良 勝
理 事	川 村 綾 子
理 事	玉 井 裕 子
監 事	澤 藤 勲

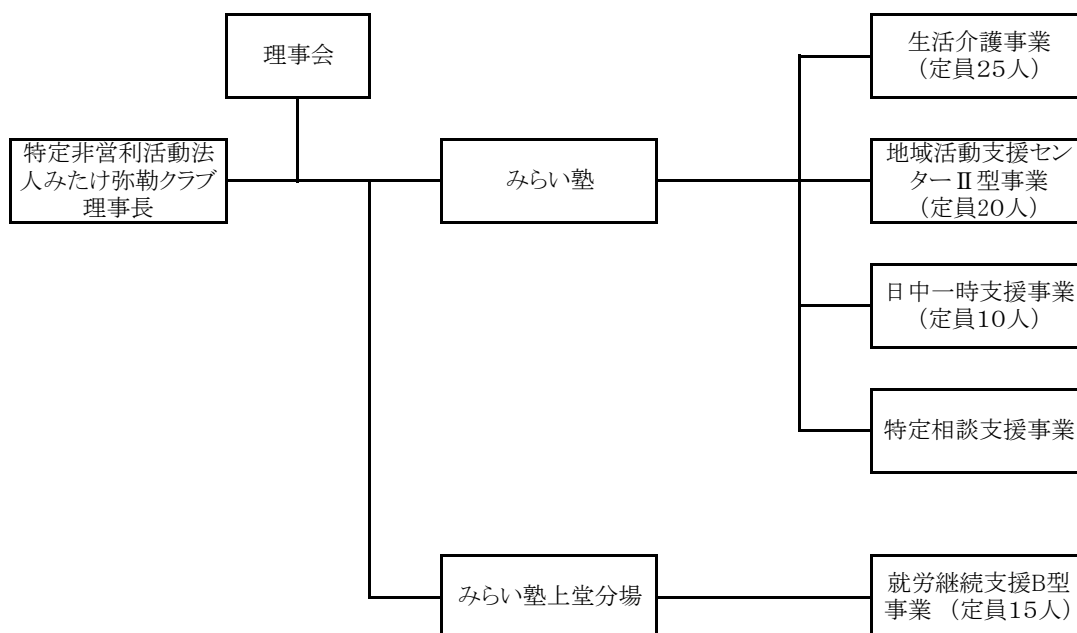
4. 会 員

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
正会員	10	10	10	10	10	11	11	11	11	14	11
賛助会員	26	26	26	26	26	26	33	40	35	38	32
合 計	36	36	36	36	36	37	44	51	46	52	43

(人)

5. 組織及び職員

(1)組織図



(2)職員数（令和6年3月31日現在）

職 名	事務	生活介護	B型(分場)	計画相談
管理者	-	1	兼務	兼務
サービス管理責任者	-	1	兼務	兼務
看護師兼生活支援員	-	1	-	-
相談支援専門員	-	-	-	2
事務員	1	-	-	-
生活支援員	-	7	2	-
職業指導員	-	-	2	-
目標工賃達成指導員	-	-	1	-
小 計	1	10	4	2
合 計	17			

§ 2. 「みらい塾」の部

1 事業概要

(1) 事業実施の概要

みらい塾においては、法人訓である『利用者の最大限の利益』を判断基準に、利用者の基本的人権と人間性を尊重し、個々のニーズに即応したきめ細かい援助を追求することで、利用者の地域生活力の向上と社会参加を促進した。業務の面では本場と分場で相互に連携をとりながら、支援内容の充実に向けた取り組みを推進した。

指定特定相談支援事業では、利用契約する障がい者等が直面している問題や要望について、当事者及び保護者又は障がい者等の介護を行う者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行い、併せてこれらの者と市町村及び指定障害福祉サービス事業所等との連絡調整等を行った。具体的には、計画相談支援に基づくサービス等利用計画の作成とサービス等利用計画の見直し（モニタリング）を行った。

① 利用者支援

生活する上で必要なスキルや経験を積み重ねてもらうために、利用者のニーズに即した個別支援計画を作成し、作業活動や社会資源の利用・マナー確認等を行う中で、個々が必要としている支援を提供した。

また、社会の一員としての自覚を持って生活していくことができるように、日々の作業活動で得た収入を元に毎月作業工賃を支給し、社会参加意欲の向上に努めた。

補助的なサービスとしては、みらい塾平日の利用者を対象として日中一時支援事業（夕方・早朝見守り）を実施し、今年度は延べ1,277人（月平均約107人）の利用があった。

また、利用者の健康管理については、健康診断の要望が年々増えてきたことから、ニーズ調査を行ったところ15人の希望者があり、嘱託医である植田消化器内科医院で日程調整をして行った。参加した保護者からは、定期的に実施してほしいとの声が多かった。

地域活動支援センターⅡ型事業については、前年度の試行結果を踏まえ、月1～2回の予定でみらい塾の平日利用者を対象に実施した。

リスクマネジメントにおいては、業務中に把握したインシデント・アクシデント両方の報告書を積極的に作成することで、表面化したリスクやトラブルの原因と対策を職員間で共有し、再発防止に努めた。

② 地域との交流

コロナ禍の余波が残っていたため学校や他の団体等との交流行事への参加は見送ったが、段階的な連携再開を念頭に、みたけ・厨川地区地域包括支援センターが主催するケア会議に参加した。また、近隣の企業から依頼を受けて、使用済み段ボールの回収を月に2～3回のペースで行った。

例年行っている社会福祉施設実習については、事前に学校側と感染防止マニュアルを整備したうえで受け入れることで福祉人材の育成に努めた。

③ 運営の充実

本場・分場会議、役付会議、運営会議、全体会議を通じて職員間の連携を確保しながら業務運営の円滑な推進に努めた。

内部研修としては、作成が義務化されたBCP（業務継続計画）や感染症予防について学ぶ機会を設け、安全で持続的なサービス提供の基盤づくりを行った。また、法人の経営状況について理解することを目的に、外部講師から経理的運営状況について解説してもらった。

外部研修については、利用者支援における新機軸の『意思決定支援』の研修に派遣したほか、中堅職員を『コーチング』研修に派遣し、持続的な事業所運営に必要な人材育成技術の構築に努めた。

防災に関しては、年間計画に基づいて火災・地震を想定した避難訓練を月次で実施し、二次避難場所への避難や消防署への通報訓練等を実施した。また、消防署に事前に届出を提出し、８月と１０月に総合訓練を実施したほか、近年多発している豪雨災害・浸水被害を想定し、垂直避難（建物内で上の階に退避）の訓練を行った。

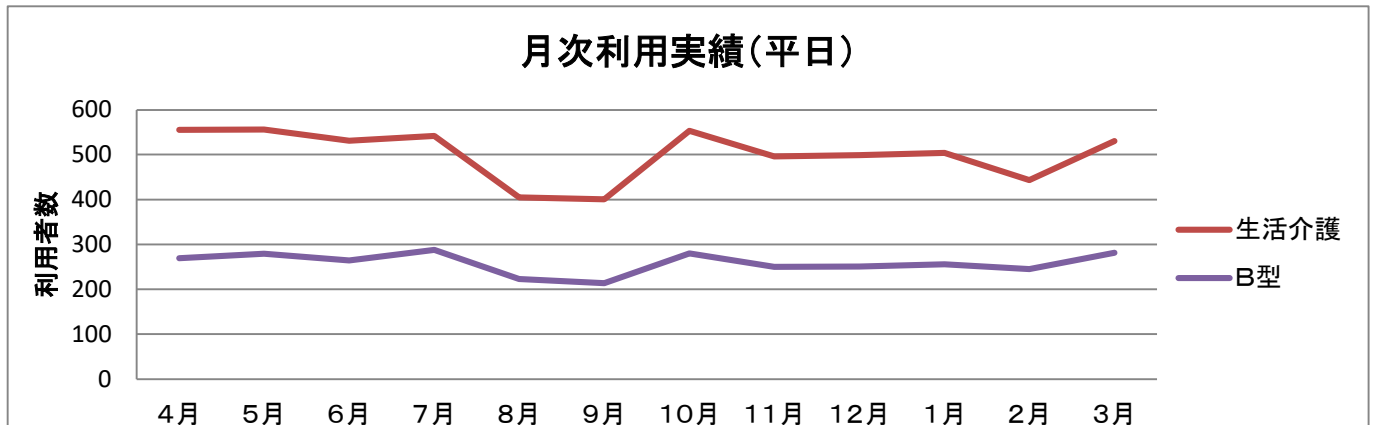
（２）事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実稼働日	実施場所	職員数	利用定員	延べ利用者数
生活介護事業	生活介護事業	256 日	みらい塾	7 人	25 人	6,015 人
就労継続支援事業	就労継続支援B型事業	259 日	みらい塾 (上堂)	4 人	15 人	3,100 人
相談支援事業	指定特定相談支援事業	—	みらい塾	2 人	—	96 人
地域活動支援センター事業	地域活動支援センター事業	15 日	みらい塾	随時	20 人/日	93 人
地域生活支援事業	日中一時支援事業	—			10 人/日	1,542 人

2. 利用者状況(令和7年3月31日現在)

(1) 月次利用実績(平日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実稼動日(平日)	22	23	22	23	19	21	23	21	21	21	20	23	259
生活介護	555	556	531	542	405	401	553	496	499	504	443	530	6,015
就労継続B型	269	279	264	288	223	214	280	250	251	256	245	281	3,100
合計	824	835	795	830	628	615	833	746	750	760	688	811	9,115
平均利用者数/日	37.5	36.3	36.1	36.1	33.1	29.3	36.2	35.5	35.7	36.2	34.4	35.3	35.1
前年度平均	36.5	36.0	37.7	37.3	33.9	36.5	36.7	36.5	37.5	36.3	36.6	36.9	36.7

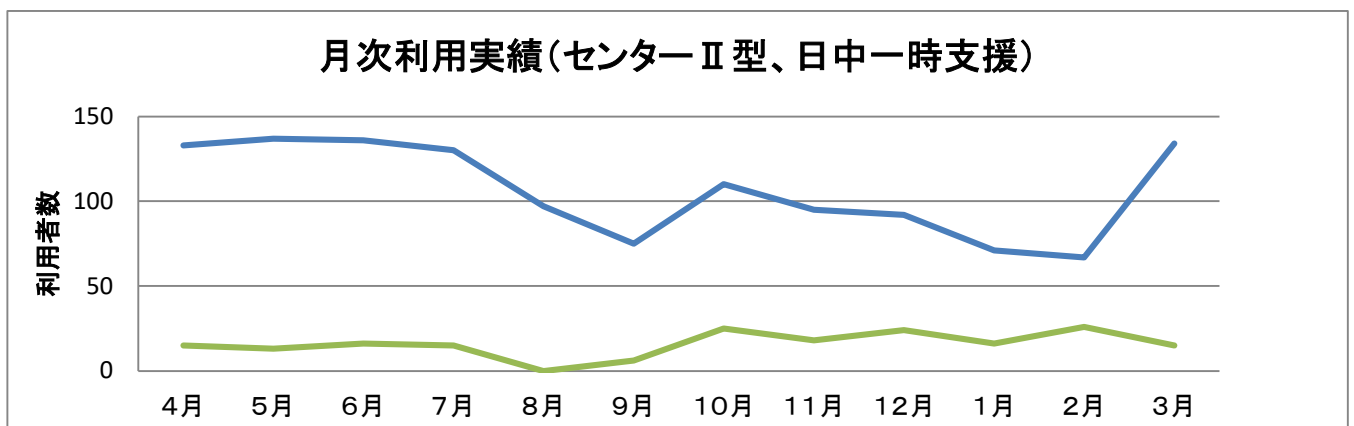


(2) 月次利用実績(土日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実稼動日(土日)	1	1	1	1	0	1	2	2	2	1	2	1	15
センターⅡ型	15	13	16	15	0	6	25	18	24	16	26	15	189
平均利用者数/日	15	13	16	15	0	6	12.5	9	12	16	13	15	12.6
前年度平均	0	0	15	17	0	15	11	12	0	0	10	13	13.3

(3) 月次利用実績(日中一時支援)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
早朝見守り	14	19	20	20	13	14	19	19	20	3	8	24	193
夕方見守り	119	118	116	110	84	61	91	76	72	68	59	110	1,084
合計	133	137	136	130	97	75	110	95	92	71	67	134	1,277



(4)在籍利用者数

	R6年度現員	定員
生活介護	27	25
就労継続支援B型	13	15
合 計	40	40

※令和6年5月で1名退所

(5)市町村別の状況

(人)

	盛岡市	滝沢市	岩手町	西和賀町	宮古市	合計
生活介護	22	2	1	1	1	27
就労継続支援B型	11	2	0	0	0	13
合 計	33	4	1	1	1	40

(6)年齢構成の状況

(人)

	18歳未満	18～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
生活介護	0	2	7	7	11	27
就労継続支援B型	0	0	1	1	11	13

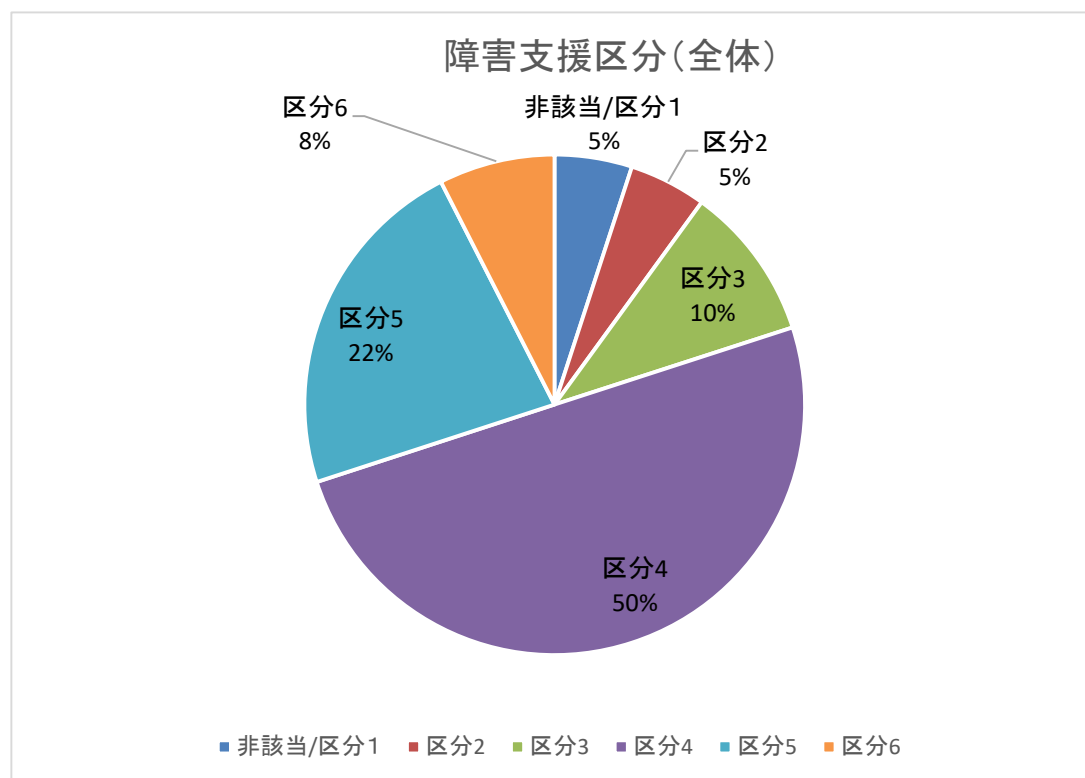
(7)平均年齢

生活介護	34歳10か月
就労継続支援B型	41歳0か月

(8)障害程度区分

(人)

	非該当-区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
生活介護	—	—	0	17	7	3	27
就労継続支援B型	2	2	4	3	2	0	13
合計	2	2	4	20	9	3	40



3. 事業実施状況

(1) 生活介護事業

概 要	「地域生活力を高めよう！」をスローガンに、個別支援計画に基づいた援助を計画的に行い、作業活動を中心に据えながら、地域資源を活用し、利用者が自分らしく地域で生活していくことができるよう、個々のスキルアップにも焦点を当てて活動に取り組んだ。
-----	--

活動種目	内 容	活 動 概 要
作業活動	リサイクル (古紙)	保険代理店や家電量販店などの協力企業から回収したパンフレット・雑誌を、糊付け部分から1枚ずつ破り取り、糊部分等を除去したうえで束ねてリサイクル業者へ納品した。 新たな提供元（協力企業）も増え、資材が確保できたことで、途切れずに作業活動を提供できた。
	リサイクル (空き缶)	地域住民や保護者から提供されたアルミ缶を選別し、不要部分を除去して袋に詰め、リサイクル業者へ納品した。
	卵パック 作業	『いわて生協』本部から店頭で回収した卵パックを預かり、シール・汚れ・カラー印字部分を取り除き、仕分けした卵パックを段ボールに詰めて納品した。 資材の在庫状況により、年度後半は取り組めない日が続いている状況である。
社会生活 活動	スキルアップ 活動	日常生活の中で必要となるスキル・知識の向上を目指し、手洗いや身だしなみなどについて分かりやすく説明した。また、気持ちのコントロールについて、クイズ形式にしたプリントを準備し書き込んだり、動画を見ながら考え、実践を交えながら関わり方についても再確認した。 社会資源の利用としては近隣の店舗へ買い物体験を行った。大型店舗へは感染状況等により控えたが、写真付きのメニュー表を準備し、自分で好きなドーナツを選ぶなど自己選択とお金の大切さを学ぶ機会を提供した。
	音楽活動	身近にある新旧幅広いジャンルの音楽に触れる機会を提供し、気持ちのリフレッシュとストレス解消を図った。また、音楽を通して、自分の気持ちを表現しながら仲間との交流を図った。
	運 動	県営武道館を計画的に予約して、週 1～2 回のペースで身体を動かす機会を設け、ストレッチやミニゲーム、ダンス等を行った。コロナ禍を経て歩行力が低下し、歩行時の要付き添い者が増えたことから、グループを分けて事業所周辺のウォーキングも継続的に行った。冬季や荒天時は武道館内の室内ウォーキングを行ったり、全員で 1～2 分程度軽いランニングも行った。

	健康体操	椅子に座ってできる体操を週に1～2回行った。 身体を動かすことが苦手な方や、歩行に不安がある方でも安全に取り組み、武道館が使えない夏季にも室内活動として継続的に提供した。
	地域活動	近隣ゴミ集積所の清掃については、感染症予防の観点から今年度も職員が行った

(2) 就労継続支援B型事業

概 要	作業活動を主たる内容に位置づけ、個別支援計画に基づいた援助を計画的に行うとともに、地域生活力の向上を目指し、適切なコミュニケーション技術・マナー等の確認を行った。
-----	---

活動種目	内 容	活 動 概 要
作業活動	卵パック 作 業	いわて生協と受託契約を結び、県内の店舗から集められた卵パックを預かり、選別（シール等の不要部分の切除、サイズ・形状毎の仕分け）を行ったうえで、段ボール箱に詰めて納品した。処理数量のデータ入力やグラフ記入など個別の役割も設けている。
	箱折り作業	（株）野崎印刷紙業から『いわちく』のお歳暮用の箱折り作業を受託し、3000箱を組み立てた。今後についてもお歳暮やお中元の売れ行き次第だが、継続して仕事を依頼するとの話をいただいている。
社会生活 活動	軽 運 動	月に2回のペースで身障者体育館等を予約し、広いスペースを使ったリレーや卓球バレーなどを行い、体を動かす機会を提供した。また、気候の穏やかな時期は午前の作業を早めに終えてウォーキングを行い、午後の作業前にはインターネット動画を活用し、ストレッチや体操を行った。
	リフレッシュ 活 動	週末にかけて資材量も減ることから、月に2回ほどのペースでリフレッシュの時間を設け、動画視聴・テーブルゲーム・塗り絵などで各々の気分転換を図った。
	社会見学	感染症対策を講じたうえで、『盛岡市地方気象台』を見学した。気象台の役割や仕組みを学ぶと共に、大雨による水害が身近に起こりうるため、水害や災害についての知識を高めた。
	その他	新型コロナの5類移行後も感染リスクについて注意喚起を行い、マスク着用や換気・加湿を継続して感染予防に努めた。

(4) 土曜日営業

概 要	<p>月 1 ～2 回の頻度で営業日を設けて、花見や買い物を兼ねたドライブ、体育館を利用したレクリエーション、ライブ動画や DVD 視聴など毎回趣向を凝らしたメニューで利用者に参加を募った。</p> <p>合同開催をやめて 2 年目となったが、活動メニューが分かれていることで公用車利用の融通やコロナ発生時のリスク軽減などメリットが多く、ほぼ予定通りに開催することができた。</p>
-----	---

(5) 地域活動支援センターⅡ型事業

概 要	<p>余暇支援の一つとして、当塾を平日利用している契約者のみを対象として、定番メニュー（カラオケ・ボウリング）を提供した。土曜日営業との兼ね合いから日曜日に設定したこともあったが、利用人数に大きな変動はなかった。コロナ禍明けの前年度は試行的に月 1 回の実施としたが、再開後の反響も大きかったことから今年度は実施回数を増やして提供した。</p>
-----	--

(6) 日中一時支援事業

概 要		<p>家族の都合により早朝 7 時半から受け入れる早朝見守りと、余暇的な意味合いが強い夕方見守りを平日の基幹事業の前後の時間で提供した。</p> <p>早朝見守りについては、長年利用してきた家庭が 9 時過ぎの送迎に切り替えたことで 1 月から利用者が減ったが、3 月から別の家庭の定期利用が始まっている。</p>												
延べ 利用 人数 (人)		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	朝	14	19	20	20	13	14	19	19	20	3	8	24	193
	夕方	119	118	116	110	84	61	91	76	72	68	59	110	1084
	合計	133	137	136	130	97	75	110	95	92	71	67	134	1277

(7) リスクマネジメントの状況

事業所としての事故防止の観点から、軽微なミスも積極的に記録に残し、原因究明と再発防止に努めた。今年度は送迎に関する案件が多く、原因として思い込みや確認不足が挙げられた。また、直接的に利用者に影響が出ない部分でのミス（エアコンや電灯の消し忘れ、運動施設のキャンセル忘れ等）も多く、信用問題にもつながりかねないため、チェック方法の見直しや見える化を行った。

【ヒヤリハット / 状況報告書】※各月の上段はヒヤリハット、下段は状況報告書

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者・家族等に 起因する案件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員に起因する 案件	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	7
	1	2	0	1	1	1	2	2	2	2	0	1	15
環境に起因する 案件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	2	3	1	2	2	1	3	3	1	2	1	1	23

【原因・内容の内訳】※重複している部分もあります。

	破損・紛失	連絡ミス	記載ミス	配付ミス	服薬関連	施錠・電源	送迎・運転	その他	合計
生活介護	0	2	2	3	0	0	0	0	7
就労継続B型	1	2	0	0	0	0	4	0	7
土曜日開所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
センターⅡ型	1	0	0	0	1	0	0	0	2
その他	1	1	0	0	0	3	1	5	11
合 計	3	5	2	3	1	3	5	5	27

(8) 実習生受入状況

特別支援学校等のカリキュラムに基づき、実際の事業所での体験の場の提供として実習生を受け入れた。

今年度の実習受入状況については以下のとおり。

実習期間	学校名	学年	人数
R6.11.25～11.27(3日間)	岩手県立盛岡みたけ支援学校高等部	2年	1人

(9) 社会福祉実習生等の受入状況

社会福祉従事者の養成や福祉意識の涵養等を目的とし、短期からの実習を受け入れた。

実習期間	学校名等	人員	実習内容等
R6.11.11～11.22(10日間)	盛岡大学短期大学部 幼児教育科	2人	社会福祉施設実習

(10) 関係機関との連携、委員等の派遣

下記の依頼を受け、関係機関との連携に協力した。

任 期	名 称	担当者
R5.4.1～R7.3.31	岩手大学特別支援学校評議員	遠山 政良

4 職員研修実施状況

内部研修では、日々の会議等で職務を通じた研修(OJT)を推進し、職員個々の実践力向上に努めるとともに、BCPや事業収支等を共有することで、職員個々のレベルでも事業所運営を考えてもらう契機とした。

外部研修では、『障がい者の意思決定支援』などタイムリーな内容を選定して職員を派遣したが、全ての受講希望に沿うことは出来なかった。

(1) 職場内研修実施状況

実施月	研修テーマ	講 師	参加者
R6.5	令和6年度の処遇改善について	副塾長	15人
R6.9	BCP事業継続計画について	副塾長	13人
R6.12	①虐待防止・身体拘束適正化 ②感染症予防対策	副塾長	13人
R7.3	福祉施設が求められる企業としての感覚について	(株)アグウェルシステム 代表取締役 阿部毅博氏	13人
〃	虐待防止セルフチェックの結果から見えるもの	副塾長	13人

(2) 職場外研修参加状況

期 日	主 催	研修内容	参加者
R6.8.30	県社協	障がい者の意思決定支援	1人
R6.9.5	県社会福祉士会	メンタルヘルス研修～管理職から部下への関わり方～	1人
R6.9.30	県立大学	コーチング研修	1人
R6.12.10	全日本自閉症者 支援者協会	全日本自閉症支援者協会研究大会	1人
R7.1.16～1.17	県社会福祉士会	令和6年度サービス管理責任者等更新研修	1人

5 地域社会との交流

(1) 資源回収

保険代理店や自動車販売店などの協力企業から、作業活動用としてパンフレット等を継続的に回収したほか、近隣の企業や福祉サービス事業所から依頼を受け、段ボールの回収(リサイクル会社への運搬)も行った。

(2) サービス事業所の連携

みたけ・北厨川地域包括支援センターが主催する『地域ケア会議』に参加し、地域の高齢者・障がい等の福祉サービス事業者からの情報提供(現状と課題)を元に、グループワーク演習を行った。

(3) ボランティア受入・教育機関との連携

前年度と同様に新型コロナウイルス感染予防を優先し、外部からのボランティアや教育機関の作業体験交流については受け入れを見送った。

6 防災訓練実施状況

利用者・職員の防災意識を高めるとともに、災害時及び緊急時に迅速に対応できるよう、避難方法・避難場所を確認することを目的に、本場、分場共に年間計画に基づき下記のとおり実施した。近年多発している大雨による災害を鑑みて、洪水時の建物内避難（上階への垂直避難）も梅雨の時期に行った。

(1) 本場

実施日	想 定	時間帯	避 難 場 所	備 考
4月19日	火災（みらい塾2階から出火）	午 前	みらい塾駐車場	
5月17日	強い地震（三陸沖震源）	午 前	みらい塾駐車場	
6月17日	大雨洪水警報発令	午 後	みらい塾2階（垂直避難）	
7月26日	火災（みらい塾2階から出火）	午 前	みらい塾駐車場	
8月29日	強い地震（三陸沖震源）	午 前	みらい塾駐車場	
10月10日	火災（みらい塾2階から出火）	午 前	みらい塾駐車場	9/26予定もコロナによる延期分
10月29日	強い地震（宮城県沖震源）	午 前	みらい塾駐車場	
11月19日	火災（みらい塾2階から出火）	午 前	みらい塾駐車場	通報訓練も実施
12月20日	講習（火災・地震）	午 後	—	
1月28日	火災（みらい塾2階から出火）	午 前	（みらい塾駐車場）	駐車場凍結のため、外階段前まで
2月20日	強い地震（宮城県沖震源）	午 前	（みらい塾駐車場）	低温・強風のため内玄関まで避難
3月25日	火災（みらい塾2階から出火）	午 前	みらい塾駐車場	

(2) 上堂分場

実施日	想 定	時間帯	避 難 場 所	備 考
4月16日	強い地震（三陸沖震源）	午 前	上堂分場駐車場	※スバル自動車駐車場は工事中
6月10日	火災（上堂分場2階から出火）	午 後	上堂分場駐車場	5月延期分（業務の都合）
6月19日	強い地震（三陸沖震源）	午 前	上堂分場駐車場	通所直後の避難訓練
7月6日	講習（防災関連動画…水害）	午 後	—	土曜日営業
8月28日	火災（上堂分場2階から出火）	午 後	上堂分場駐車場	※スバル自動車駐車場は工事中
9月26日	強い地震（三陸沖震源）	午 後	上堂分場駐車場	※スバル自動車駐車場は工事中
10月31日	講習（風水害について）	午 前	—	盛岡気象台を訪問し受講
11月29日	体育館利用中に火災発生	午 後	上堂老人福祉センター駐車場	センター内の非常出口を再確認
12月1日	身障者体育館利用中に地震発生	午 後	身体障がい者体育館玄関	
1月20日	火災（上堂分場2階から出火）	午 前	上堂分場駐車場	※スバル自動車駐車場は工事中
2月20日	強い地震（三陸沖震源）	午 後	上堂分場駐車場	※スバル自動車駐車場は工事中
3月24日	強い地震（三陸沖震源）	午 後	上堂分場駐車場	※スバル自動車駐車場は工事中

7.収入・支出の状況

貸借対照表

特定非営利活動法人 みたけ弥勒クラブ

【資産の部】

令和 7年 3月31日 現在

単位：円

科 目	当 期		前 期		差 額	前 期 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
【流 動 資 産】	【 29,507,109】	68.4	【 24,686,354】	62.5	4,820,755	119.5
現金及び預金	15,974,639	37.0	12,034,915	30.5	3,939,724	132.7
利用者未収入金	199,980	0.5	182,700	0.5	17,280	109.5
保険未収入金	12,225,760	28.3	11,123,300	28.1	1,102,460	109.9
前払金	306,867	0.7	541,375	1.4	△234,508	56.7
前払費用	499,842	1.2	502,568	1.3	△2,726	99.5
未収入金	300,021	0.7	301,496	0.8	△1,475	99.5
【固 定 資 産】	【 13,648,117】	31.6	【 14,829,906】	37.5	△1,181,789	92.0
(有形固定資産)	(5,292,792)	12.3	(6,967,944)	17.6	△1,675,152	76.0
建物附属設備	3,980,717	9.2	4,827,440	12.2	△846,723	82.5
構築物	2	0.0	6	0.0	△4	33.3
車両運搬具	1,236,779	2.9	2,011,120	5.1	△774,341	61.5
工具器具備品	75,294	0.2	129,377	0.3	△54,083	58.2
一括償却資産			1	0.0	△1	
(投資その他の資産)	(8,355,325)	19.4	(7,861,962)	19.9	493,363	106.3
出資金	1,000	0.0	1,000	0.0		100.0
敷金	860,000	2.0	860,000	2.2		100.0
共済事業積立金	7,231,801	16.8	6,551,598	16.6	680,203	110.4
長期前払費用	262,524	0.6	449,364	1.1	△186,840	58.4
資 産 合 計	43,155,226	100.0	39,516,260	100.0	3,638,966	109.2

貸借対照表

特定非営利活動法人 みたけ弥勒クラブ

【負債・純資産の部】

令和 7年 3月31日 現在

単位：円

科 目	当 期		前 期		差 額	前 期 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
【流 動 負 債】	2,772,103	6.4	2,990,690	7.6	△218,587	92.7
未 払 費 用	1,398,317	3.2	2,102,505	5.3	△704,188	66.5
未 払 法 人 税 等	445,100	1.0	72,000	0.2	373,100	618.2
預 り 金	668,786	1.5	605,395	1.5	63,391	110.5
仮 受 金	189,900	0.4	175,290	0.4	14,610	108.3
未 払 消 費 税 等	70,000	0.2	35,500	0.1	34,500	197.2
【固 定 負 債】	2,398,100	5.6	4,525,700	11.5	△2,127,600	53.0
長 期 借 入 金	500,000	1.2	1,250,000	3.2	△750,000	40.0
長 期 未 払 金	1,898,100	4.4	3,275,700	8.3	△1,377,600	57.9
負 債 合 計	5,170,203	12.0	7,516,390	19.0	△2,346,187	68.8
【株 主 資 本】	37,985,023	88.0	31,999,870	81.0	5,985,153	118.7
資 本 金						
(利 益 剰 余 金)	(37,985,023)	88.0	(31,999,870)	81.0	5,985,153	118.7
そ の 他 利 益 剰 余 金	37,985,023	88.0	31,999,870	81.0	5,985,153	118.7
繰 越 利 益 剰 余 金	37,985,023	88.0	31,999,870	81.0	5,985,153	118.7
純 資 産 合 計	37,985,023	88.0	31,999,870	81.0	5,985,153	118.7
負 債 ・ 純 資 産 合 計	43,155,226	100.0	39,516,260	100.0	3,638,966	109.2

損益計算書

特定非営利活動法人 みたけ弥勒クラブ

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

単位：円

科 目	当 期		前 期		差 額	前 期 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
【売 上 高】	78,085,284	100.0	72,317,119	100.0	5,768,165	108.0
会 費 収 入	360,000	0.5	325,000	0.4	35,000	110.8
計画相談支援費給付金収入	1,452,720	1.9	1,319,140	1.8	133,580	110.1
自立支援費等収入	68,569,060	87.8	63,158,850	87.3	5,410,210	108.6
地域生活支援事業収入	4,027,700	5.2	3,778,160	5.2	249,540	106.6
そ の 他 収 入	3,675,804	4.7	3,735,969	5.2	△60,165	98.4
売 上 総 利 益 金 額	78,085,284	100.0	72,317,119	100.0	5,768,165	108.0
【販売費及び一般管理費】	71,960,745	92.2	66,289,953	91.7	5,670,792	108.6
営 業 利 益 金 額	6,124,539	7.8	6,027,166	8.3	97,373	101.6
【営 業 外 収 益】	305,716	0.4	731,035	1.0	△425,319	41.8
受 取 利 息	8,509	0.0	81	0.0	8,428	***. *
雑 収 入	297,207	0.4	730,954	1.0	△433,747	40.7
経 常 利 益 金 額	6,430,255	8.2	6,758,201	9.3	△327,946	95.1
【特 別 損 失】	2	0.0			2	
固 定 資 産 除 却 損	2	0.0			2	
税引前当期純利益金額	6,430,253	8.2	6,758,201	9.3	△327,948	95.1
法人税、住民税及び事業税	445,100	0.6	72,000	0.1	373,100	618.2
当 期 純 利 益 金 額	5,985,153	7.7	6,686,201	9.2	△701,048	89.5

販売費及び一般管理費

特定非営利活動法人 みたけ弥勒クラブ

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

単位：円

科 目	当 期		前 期		差 額	前 期 対 比
	金 額	構成比	金 額	構成比		
理 事 報 酬	1,900,000	2.4	2,400,000	3.3	△500,000	79.2
給 与 手 当	39,522,402	50.6	34,173,492	47.3	5,348,910	115.7
賞 与	1,739,000	2.2	1,402,640	1.9	336,360	124.0
本 人 支 給 金	1,704,650	2.2	1,618,400	2.2	86,250	105.3
退 職 金	115,742	0.1	1,380,291	1.9	△1,264,549	8.4
教 育 訓 練 費	200,504	0.3	112,770	0.2	87,734	177.8
法 定 福 利 費	6,138,133	7.9	5,334,210	7.4	803,923	115.1
福 利 厚 生 費	106,939	0.1	231,831	0.3	△124,892	46.1
旅 費 交 通 費	2,640	0.0	1,900	0.0	740	138.9
通 信 運 搬 費	308,505	0.4	323,564	0.4	△15,059	95.3
交 際 費	66,428	0.1	48,644	0.1	17,784	136.6
減 価 償 却 費	2,402,450	3.1	1,979,093	2.7	423,357	121.4
賃 借 料	7,797,134	10.0	8,401,704	11.6	△604,570	92.8
保 険 料	885,004	1.1	846,728	1.2	38,276	104.5
修 繕 費	86,996	0.1	111,980	0.2	△24,984	77.7
水 道 光 熱 費	1,635,675	2.1	1,539,870	2.1	95,805	106.2
燃 料 費	1,431,885	1.8	1,429,073	2.0	2,812	100.2
消 耗 品 費	739,955	0.9	769,362	1.1	△29,407	96.2
租 税 公 課	271,303	0.3	192,912	0.3	78,391	140.6
諸 謝 金	902,685	1.2	864,185	1.2	38,500	104.5
事 務 用 品 費	749,121	1.0	637,682	0.9	111,439	117.5
管 理 諸 費	2,159,372	2.8	2,085,534	2.9	73,838	103.5
支 払 手 数 料	227,900	0.3	214,668	0.3	13,232	106.2
諸 会 費			1,375	0.0	△1,375	
新 聞 図 書 費	91,512	0.1	56,797	0.1	34,715	161.1
負 担 金 支 出	63,800	0.1	63,800	0.1		100.0
寄 附 金 支 出	8,630	0.0	5,000	0.0	3,630	172.6
車 輦 費	702,380	0.9	62,448	0.1	639,932	1124.7
合 計	71,960,745	92.2	66,289,953	91.7	5,670,792	108.6

